

第15章 福島県立美術館

第1節 概要

開館10周年を迎えた福島県立美術館は、さまざまなテーマによる展覧会をはじめ、各種講座等の普及事業を開催し、さらに、美術の情報センターとしての機能の充実を図ってきた。

また、美術品の収集・保存とともに広範な調査研究活動をすすめて、成果の蓄積に努力してきた。

当年度の美術館活動の概要は、次のとおりである。

1 美術館運営協議会

委員を次の方々に委嘱し、1回開催した。

(1) 委員

- 深澤 一 榮 福島県中学校教育研究会長 (7.1.1～)
- 大竹 寅八郎 福島県高等学校教育研究会長 (7.1.1～)
- 渡辺 良雄 福島県芸術文化団体連合会長 (7.1.1～)
- 佐藤 昌志 福島県文化センター館長 (7.1.1～)
- 大野 雅人 福島県議会議員 (7.1.1～)
- 西間木 セツ子 福島県市町村教育委員会連絡協議会員 (7.1.1～)
- 安倍 寛 福島大学教育学部長 (7.1.1～)
- 佐藤 光 元福島県教育長 (7.1.1～)
- 酒井 哲朗 三重県立美術館長 (7.1.1～)
- 佐々木 恵寿 福島県青少年団体連絡協議会副会長 (7.1.1～)

(2) 協議会の開催

平成7年3月8日

- ・平成6年度事業実績について
- ・平成7年度予算の概要について
- ・平成7年度事業計画の概要について
- ・福島県立美術館の運営について

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および連絡協議会等との連携を図り、運営、企画展、教育普及、調査研究等に関する情報交換ならびに研修をすすめた。

(1) 加盟団体

- ・全国美術館会議 (監事)
- ・美術館連絡協議会 (理事)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (会員)
- ・東北地区博物館協会 (会員)
- ・福島県博物館連絡協議会 (理事)

(2) 研修受け入れ

- ・博物館学実習 10月4日～10月9日 (実習生3名)

第2節 美術品の収集・保存事業

美術品等の情報収集をすすめ、購入および企画展出品作品の寄贈を受けるなど収蔵品を充実した。また、収蔵品や資料の保全を図り、他館への貸し出しについても協力した。

1 収蔵品点数一覧

(平成7年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外(絵画・版画・彫刻)	187	10	0	197
日本画	49	63	115	227
洋画	69	92	98	259
版画	82	436	40	558
彫刻	1	4	48	53
工芸	2	5	33	40
書	0	1	36	37
下絵等	0	14	11	25
合計	390	625	381	1,396

2 収集評価委員会

委員を次の方々に委嘱し、1回開催した。

(1) 委員

- 内山 武夫 京都国立美術館学芸課長 (H 4. 4. 1～)
- 桑原 住雄 武蔵野美術大学教授 (S 55. 4. 1～)
- 佐藤 光 元福島県教育長 (S 55. 4. 1～)
- 原田 実 平塚市美術館長 (H 4. 4. 1～)
- 三木 多聞 徳島県立近代美術館長 (S 55. 4. 1～)

(2) 委員会の開催

第1回 平成6年7月16日

- ・購入候補作品について

第2回 平成6年11月12日

- ・購入候補作品について
- ・受贈作品について